

## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東  
コード番号 6046 URL http://linkbal.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉弘 和正  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理部 部長 (氏名) 松岡 大輔 TEL 050(1741)2300  
定時株主総会開催予定日 2024年12月20日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年12月20日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期の連結業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	968	—	△123	—	△123	—	△124	—
2023年9月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年9月期 △124百万円 (—%) 2023年9月期 —百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△6.65	—	△11.7	△8.9	△12.8
2023年9月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 —百万円 2023年9月期 —百万円

(注) 2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期の数値および対前期増減率については記載して  
おりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	1,316	1,006	76.4	53.73
2023年9月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年9月期 1,006百万円 2023年9月期 —百万円

(注) 2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期の数値については記載して  
おりません。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△112	3	△3	1,072
2023年9月期	—	—	—	—

(注) 2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期の数値については記載して  
おりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,106	14.3	16	—	16	—	10	—	0.55

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) 株式会社MIDATA

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2024年9月期	19,500,000株	2023年9月期	19,500,000株
2024年9月期	773,430株	2023年9月期	785,698株
2024年9月期	18,721,341株	2023年9月期	18,709,395株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	941	5.6	△128	—	△128	—	△128	—
2023年9月期	891	16.5	△249	—	△251	—	△266	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	△6.85	—
2023年9月期	△14.22	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年9月期	1,308		1,004		76.7		53.62	
2023年9月期	1,468		1,130		77.0		60.40	

(参考) 自己資本 2024年9月期 1,004百万円 2023年9月期 1,130百万円

2. 2025年9月期の個別業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	
通期	1,036	10.1	8	—	5	—	0.30	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (当期の経営成績)

当連結会計年度における我が国経済は、円安による輸入コストの増加や、世界情勢の不安定化に起因した資源価格の高騰による物価上昇が続き、不確実性を増しており、依然として不透明な事業環境が続いております。このような経営環境の下、当社は「machicon JAPAN」の運営については、子会社である株式会社MiDATAと連携し、独自のAI技術開発により、多様化する出会いのニーズを捉えるプラットフォーム環境を構築し、利用者数の増加を図ってまいりました。また、利用者の利用体験を向上させるべく、各イベント運営事業者と連携を強化し、満足度の高いイベントの提供に努めてまいりました。さらに、他業界の企業との協業を強化し、潜在顧客層にリーチする新たな切り口でのイベント企画・運営を行ってまいりました。オンラインでの出会いを提供するマッチングアプリ

「CoupLink」の運営については、カフェラウンジ「lon1 for Singles」とのサービス間の連携を強化することで利用者の増加および競合サービスとの差別化を図っております。また、引き続き、AI技術の活用による、なりすまし業者の排除等を行い、利用者に安心安全な利用環境を構築してまいりました。1対1の出会いを提供するカフェラウンジ「lon1 for Singles」の運営においては、販売促進活動による新規利用者の増加を図るとともに、接客の改善による利用体験の向上、および来店時の利用時間の向上に努めました。一方で、業務運用の効率化に伴う間接業務の削減、要員の適正配置推進による人件費の効率的運用等に取り組み、株式会社リンクバルの販売費及び一般管理費においては、昨年度実績と比較して150,909千円の経費削減が進みました。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、連結売上高は968,171千円となり、売上原価、販売費及び一般管理費合計が1,092,125千円となりました。その結果、損益面では、営業損失は△123,953千円、経常損失は△123,640千円、親会社株主に帰属する当期純損失は△124,531千円となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

#### (イベントECサイト運営サービス)

2024年9月末でリンクバルID会員数は268万人を突破し、当連結会計年度末におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は682,704千円となりました。

#### (WEBサイト運営サービス)

「CoupLink」および「KOIGAKU」につきましては、当連結会計年度末におけるWEBサイト運営サービスの売上高は285,467千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は1,316,394千円となりました。主な内訳は現金及び預金1,072,498千円、建物113,213千円、売掛金81,919千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は309,564千円となりました。主な内訳は長期借入金109,197千円、未払金68,675千円、未払消費税等22,917千円、資産除去債務18,925千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,006,829千円となりました。主な内訳は利益剰余金813,761千円、資本剰余金499,630千円、資本金50,000千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,072,498千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、営業活動により減少した資金は112,162千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失が123,583千円、減価償却費が17,187千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、投資活動により増加した資金は3,840千円となりました。これは主に、関係会社貸付金の回収による収入が6,314千円、有形固定資産の取得による支出が2,474千円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、財務活動により減少した資金は3,601千円となりました。これは長期借入金の返済による支出が3,601千円となったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率	—	—	—	76.4%
時価ベースの自己資本比率	—	—	—	217.7%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 該当する算出数値が無い場合には「—」を記載しております。ただし、2024年9月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

2. 2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期以前の数値は記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

当社が今後の業容を拡大し、より良いサービスを継続的に展開していくためには、経営者は、常に外部環境の構造や変化に関する情報の入手および分析を行い、現在および将来における事業環境を確認し、経営課題を認識すると同時に最適な解決策を実施していくことが重要であると認識しております。また、今後、より一層、業界内のシェア獲得の競争が激化することが予想されます。このような状況下、「machicon JAPAN」においては、子会社であるMiDATAと連携し、AI技術の活用によるプラットフォームの強化、および他業界の企業との協業イベントや、今までにない新たな切り口でのイベントなど、新規需要を生み出す新たなイベントの企画・運営を引き続き行っております。また、「CoupLink」におきましては、引き続き、AI技術を活用し、なりすまし業者の排除を徹底し、利用者の安心安全な利用環境を構築してまいります。また「lon1 for Singles」におきましては、利用者のニーズに合わせたキャンペーンの強化や、「machicon JAPAN」や「CoupLink」との連携を強化し、利用者を増やしてまいります。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、営業損失、経常損失、当期純損失を2021年9月期から連続して計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

次の連結会計年度以降、既存事業および新規事業の強化を推し進め売上高の伸長を図り、損益状況のさらなる改善、黒字化を図ってまいります。

また、財務面におきましては、当連結会計年度末において、1,072,498千円の現金及び預金を保有しており、当連結会計年度末から翌12ヶ月間の資金繰りを考慮した結果、当面の事業資金を確保していることから当社の資金繰りに重要な懸念はありません。

以上により、当社においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を採用しております。今後の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,072,498
売掛金	81,919
前払費用	20,433
その他	1,118
貸倒引当金	△623
流動資産合計	1,175,347
固定資産	
有形固定資産	
建物	113,213
減価償却累計額	△16,427
建物(純額)	96,786
工具、器具及び備品	20,075
減価償却累計額	△13,698
工具、器具及び備品(純額)	6,377
有形固定資産合計	103,163
投資その他の資産	
差入保証金	2,200
敷金	33,965
長期前払費用	1,717
破産更生債権等	957
関係会社長期貸付金	1,185
貸倒引当金	△2,142
投資その他の資産合計	37,883
固定資産合計	141,046
資産合計	1,316,394
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	4,503
1年内返済予定の長期借入金	3,324
未払金	68,675
未払費用	12,639
未払法人税等	1,627
未払消費税等	22,917
前受金	18,874
預り金	11,569
賞与引当金	16,321
その他	5
流動負債合計	160,457
固定負債	
長期借入金	109,197
資産除去債務	18,925
繰延税金負債	5,184
長期預り保証金	15,800
固定負債合計	149,107
負債合計	309,564

(単位：千円)

当連結会計年度 (2024年9月30日)	
純資産の部	
株主資本	
資本金	50,000
資本剰余金	
資本準備金	276,000
その他資本剰余金	223,630
資本剰余金合計	499,630
利益剰余金	
繰越利益剰余金	813,761
利益剰余金合計	813,761
自己株式	△357,186
株主資本合計	1,006,205
新株予約権	624
純資産合計	1,006,829
負債純資産合計	1,316,394

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	968,171
売上原価	201,184
売上総利益又は売上総損失(△)	766,987
販売費及び一般管理費	890,940
営業利益又は営業損失(△)	△123,953
営業外収益	
受取利息	177
受取補償金	712
その他	65
営業外収益合計	956
営業外費用	
支払利息	393
損害賠償金	250
営業外費用合計	643
経常利益又は経常損失(△)	△123,640
特別利益	
新株予約権戻入益	57
特別利益合計	57
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△123,583
法人税、住民税及び事業税	1,647
法人税等調整額	△699
法人税等合計	947
当期純利益又は当期純損失(△)	△124,531
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△124,531

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△124,531
包括利益	△124,531
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△124,531

## (売上原価明細)

		当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)
イベント開催費用		114,152	56.7
WEBサイト運営サービス関連費用		87,032	43.3
合計		201,184	100.0

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	50,000	276,000	227,286	503,286	938,292	938,292	△362,842	1,128,736	238	1,128,975
当期変動額										
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△124,531	△124,531		△124,531		△124,531
譲渡制限付株式報酬			△3,655	△3,655			5,655	1,999		1,999
新株予約権の発行									442	442
新株予約権の失効									△57	△57
当期変動額合計	-	-	△3,655	△3,655	△124,531	△124,531	5,655	△122,531	385	△122,145
当期末残高	50,000	276,000	223,630	499,630	813,761	813,761	△357,186	1,006,205	624	1,006,829

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純損失 (△)	△123,583
減価償却費	17,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,213
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△604
受取利息及び受取配当金	△177
支払利息	393
新株予約権戻入益	△57
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,101
未収入金の増減額 (△は増加)	62,911
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,362
未払金の増減額 (△は減少)	△35,585
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,917
前受金の増減額 (△は減少)	1,200
預り金の増減額 (△は減少)	△7,626
その他	△5,748
小計	△111,298
利息及び配当金の受取額	177
利息の支払額	△394
法人税等の支払額	△646
営業活動によるキャッシュ・フロー	△112,162
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,474
関係会社貸付金の回収による収入	6,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,840
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000
長期借入金の返済による支出	△3,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,922
現金及び現金同等物の期首残高	1,154,420
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30,000
現金及び現金同等物の期末残高	1,072,498

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、事業活動に及ぼす影響は現時点ではほぼ解消され、軽微であると仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りの判断をしております。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の注記)

当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は次の通りです。

## 1. 連結の範囲に関する事項

## ①連結子会社の数及び主要な連結子会社の名称

- ・連結子会社の数 1社
- ・連結子会社の名称 株式会社MiDATA

## ②非連結子会社の数及び主要な非連結子会社の名称

- ・非連結子会社の数 1社
- ・非連結子会社の名称 LINKBAL VIETNAM CO., LTD
- ・連結の範囲から除いた理由 非連結子会社は、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）が、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲に含めておりません。なお、LINKBAL VIETNAM CO., LTDは清算手続き中です。

## 2. 持分法の適用に関する事項

## ①持分法を適用しない非連結子会社の名称

LINKBAL VIETNAM CO., LTD

## ②持分法を適用しない理由

持分法を適用していない非連結子会社は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

## 3. 連結の範囲及び持分法の適用の範囲の変更に関する注記

## ①連結の範囲の変更

当連結会計年度から株式会社MiDATAを連結の範囲に含めております。これは、株式会社MiDATAの重要性が増したことにより、連結の範囲に含めることとしたものであります。

## ②持分法の適用の範囲の変更

該当事項はありません。

## 4. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	53.73円
1株当たり当期純利益	△6.65円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在しておりますが、1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2024年9月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	1,006,829
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	624
(うち新株予約権 (千円))	(624)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	1,006,205
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	18,726,570

3. 1株当たり当期純損失金額 (△) の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純損失 (△)	
親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	△124,531
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失 (千円)	△124,531
期中平均株式数 (株)	18,721,341
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2018年2月13日開催の取締役会決議による新株予約権  新株予約権の発行 ①第3回 新株予約権 新株予約権の数 30個  2023年3月15日開催の取締役会決議による新株予約権 ②第7回 新株予約権 新株予約権の数 108個

## (重要な後発事象)

該当事項はございません。